令和４年度「滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減等実践取組モデル事業補助金」
補助事業紹介

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合

（滋賀県大津市打出浜 13-22）

プラスチック製のアメニティ０推進事業

本組合では、客室にプラスチック製のアメニティを設置しないことや、プラスチック代替アメニティの設置を通じて、宿泊施設から排出されるプラスチックごみの削減を推進しています。しかし、ただ設置をしないだけではお客様の協力を得られにくく、こうした排出抑制の取組の継続や他の組合員への導入拡大をすることが難しいという課題がありました。

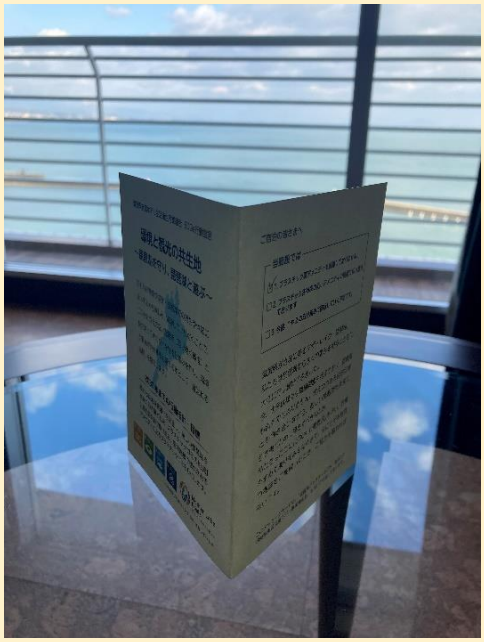
そのため、本補助金を活用して、琵琶湖流域で採取されたヨシ製の用紙を使用したメッセージカードを作成し、当組合員施設の各客室に設置しました。

メッセージカードには、プラスチック製アメニティを設置しないことや、プラスチック含有率の低いアメニティへの切り替えなど各施設の取組とともに、当組合が掲げる「環境と観光の共生地～琵琶湖を守り、琵琶湖と遊ぶ～」の理念に基づき、「2030 年までにアメニティのプラスチックごみを0にする」とした数値目標の達成に向けた強い想いを記載しています。

全国旅行支援の時期も重なり、多くの方に客室置きのメッセージカードを見ていただく機会ができ、取組について理解してもらうきっかけや、お客様自身のライフスタイルの変革につながったと思います。

また、組合員のプラスチックごみ削減に向けた更なる意識の向上にも資する取組となりました。

引き続き、2030 年までの数値目標の達成に向けて取組を進めてまいります。



客室に設置しているメッセージカード

組合で導入を進めている
プラスチック代替アメニティ